

公立図書館の休館期間における、参考図書・論文の入手方法について

はじめに

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。そして在校生のみなさん、学習は進んでおられますか。新型コロナウイルスという世界規模での感染症の拡大により、日常生活にも大きな影響が及んでおり、落ち着かない日々をお過ごしかもしれません。他方、学習のためのまとまった時間ができたと思われる方もおられるかと思います。しかし、せっかく学習意欲が高まっても、実際に作業を進めてくと、指定されているテキストだけでは深く学ぶことができなかつたり、知らない事から調べることができず、学習につまずいてしまった方もおられるかもしれません。

そこで自宅にいながら学びを継続して頂くためのヒントをご紹介しますと思います。必ず晴れて皆様と共に学ぶ日がやってきます。まずは通信教育の本領である自己学習の時間を実り豊かなものとして頂ければ幸いです。

1.インターネットを利用した辞書・図書・論文の閲覧

デジタル化されている資料を対象とした検索システムをご紹介します（なお現物資料も併せて検索されるシステムが多いので、利用の際は注意してください）。検索対象となる資料の種類は大きく分けて二つ。①古典籍や美術・工芸品などをデジタル化した資料の閲覧、②刊行された図書（報告書・図録などを含む）や論文などを閲覧、などがあります。以下には、公的機関による無料で利用可能なサイトをいくつかご紹介します。

【国会図書館デジタルコレクション】対象資料①・②

●国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービス。1968(昭和43)年までに受入れた明治・大正期刊行図書、議会資料、法令資料及び児童書など。また錦絵や地図や古文書などもデジタル化されたものをアーカイブして公開しています。戦前や江戸時代以前の古い実物史資料を探すときに便利です。とくに戦前刊行された図書も著作権が切れているものは公開されています。目当ての資料名がわかっているときは、一度検索をかけてみることで、収蔵の有無が分かります。国会図書館や連携図書館のみで公開されている資料もあります。

詳細は以下のURLで確認のこと。

<https://dl.ndl.go.jp/>

【サイニィ (CiNii) 】対象資料②

検索キーワード（論文名や語句、雑誌名あるいは著者名など）を入れて、論文を探索する。書誌情報（論文名、著者、雑誌名、刊行年、ページ）を調べ、一部の論文はPDFをダウンロードすることも可能。また本学の芸術文化情報センター経由で、論文を所蔵する図書館などに複写を依頼することができる。

<https://ci.nii.ac.jp/>

【学術機関リポジトリデータベース (IRDB) 】対象資料②

大学・研究機関など学術機関で発行される紀要・報告書などに掲載された論文を検索・閲覧できる。検索キーワード（論文名や語句、雑誌名あるいは著者名など）を入れて、論文を探索する。例えば国立西洋美術館や東京文化財研究所などの紀要も検索できます。専門性の高い学術論文をPDFでみるができます。

<https://irdb.nii.ac.jp/>

【ADEAC（アデアック）デジタルアーカイブ】対象資料①・②

全国の公的機関などでデジタルアーカイブされた歴史系の資料（〇〇市史などの自治体史・PDFを含む）や美術館・博物館の資料（所蔵品・寄贈史料・作品など）の検索・閲覧が可能です。

<https://trc-adeac.trc.co.jp/>

※ADEAC[®]（アデアック）は東京大学史料編纂所社会連携研究部門「図書館等所蔵資料の調査・整備研究」の成果をもとに、TRC-ADEAC株式会社が制作・運営しています。

【国立公文書館デジタルアーカイブ】対象資料①・②

おもに近代以降の公文書を検索し、閲覧することができます。所蔵している古地図・和漢の古典籍なども閲覧できます。

<https://www.digital.archives.go.jp/>

【青空文庫】対象資料②

●著作権の切れた文芸作品を中心にして、デジタル化したものを公開しています。

<https://www.aozora.gr.jp/>

※文芸系では、web配信の情報サイトもありますので、コース独自のテキスト科目の学び方に関するアドバイスをぜひご覧ください。

【全国遺跡報告総覧（奈良文化財研究所）】対象資料②

デジタル化されている発掘調査報告書について、検索や閲覧ができます。

<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja>

【カレントアウェアネス・ポータル（国会図書館サイト）】

日本各地の美術館・博物館のうちで、収蔵された資料（所蔵品・寄贈史料・作品など）を閲覧できるホームページ紹介は、にリストがPDFで掲載されています。

https://current.ndl.go.jp/files/research/2009/digital_archives_list.pdf

※そのほか、日本の文化遺産（指定文化財を含む）をまとめたサイトや世界の美術館・博物館収蔵品のデジタル資料を高精細画像で閲覧できるサイトなどもあります。

【文化遺産オンライン】<https://bunka.nii.ac.jp/>

【e国宝】<http://www.emuseum.jp/>

【Google art and culture】<https://artsandculture.google.com/partner?hl=ja>

2. 参考としたい図書・論文の実物を手に入れる

現在、首都圏や大都市を中心として、公立・大学図書館の多くが休館しています。こうしたなかで、図書や論文の現物資料を手に入れることは難しいことです。しかし、本学芸術情報文化センターや自治体図書館によっては、以下のような郵送による貸出を行っている図書館があります。

ただしこうした現物資料の場合、とくに図書では所蔵冊数が限られていますので、できる限り幅広い方が利用できるように、ご配慮をお願い致します。基本的には上記のイ

インターネットでの資料の収集を推奨したいと思いますが、情報として掲げておきたいと思います。

A.芸術文化情報センター（本学図書館）

【郵送貸出】※臨時休館中のみ

送料は申込者負担となります。

対象資料 本学所蔵の貸出可能な図書

※ただし貸出中、保留中（予約確保資料）、大型図書（B4以上）は貸出不可

冊数 大学院生：5冊

発送方法 ゆうパック着払い（送料は申込者負担）

料金 810円～（資料サイズ・距離により異なる）

申込方法

件名に「郵送貸出希望」と記載し、必要事項を入力の上、yoyaku-lib@kua.kyoto-art.ac.jp宛に申し込み

＜必要事項＞

(1)氏名（ふりがな）(2)学籍番号(3)資料送付先住所(4)電話番号(5)資料名、請求記号、資料ID【記入例】羅生門、726.5/KY、000058910

注意事項

- ・土曜日午後以降のお申し込みは翌平日以降の処理となります。
 - ・同一資料に対して複数のお申し込みがあった場合は、先着順とします。
 - ・申込内容に不備がある場合や貸出不可の場合は、メールまたは電話にてご連絡します。
 - ・発送後のキャンセルはできません。
 - ・本サービスに関するお問い合わせへの回答は時間を要する場合があります。
- ※詳しい内容は下記ホームページ（URLアドレス）にアクセスし確認してください。

<http://acic.kyoto-art.ac.jp/2020/04/13/02/>

【図書館向けデジタル化資料送信サービス】

●国会図書館所蔵資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、全国の公共図書館、大学図書館等（下記、参加館に限る）の館内のパソコンを通じて利用できるサービス。見たい資料の書誌情報を適切に得ていることが前提となります。図書館の開館が前提なので、このサービスは現状では難しいかもしれません。

（図書館向けデジタル化資料送信サービス参加館一覧）

https://dl.ndl.go.jp/ja/soshin_librarylist.html

※サービスの概要は「https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/index.html」

【公共図書館における郵送貸出】

・東京都立図書館

【Eメールでの郵送複写申し込み】

複写申込みは、1回につき5冊まで。都内在住・在勤の「登録利用者」が対象

※「登録利用者」の申し込み手順・webでの申し込み可能。

https://www.library.metro.tokyo.jp/guide/registrants_service/index.html

※2回目以降は、1回目の複写物を受領してから申込みのこと。複写のため書誌情報が必須。

https://www.library.metro.tokyo.jp/search/photocopy/by_mail/application/index.html

・神奈川県立図書館

【インターネットによる所蔵検索からの予約のみ郵送貸出可能】

1人10冊まで。神奈川県立図書館の「図書館カード」を持っている県内在住者。

※ 郵送によるカード登録あり

http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/common/yuusou_touroku.htm

http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/common/takuhai_service.htm

・千葉県立図書館

【郵便・FAX・ホームページでの郵送貸出の申し込み】

1人5冊まで。千葉県立図書館の資料貸出券の「有効登録者」。

https://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/all/post_85.html

・埼玉県立図書館

【郵便・FAX・メールでの郵送貸出の申し込み】

1人10冊まで。埼玉県立図書館の「利用登録者」。登録はカウンター受付のみ。

<https://www.lib.pref.saitama.jp/guidance/service/tosho-yuso-service.html>

・大阪府立図書館

【Eメールでの郵送複写申し込み】

利用者登録、もしくはWeb限定利用者登録が必要。

Web限定利用者登録の方法

<https://www.library.pref.osaka.jp/licsxp-opac/WOpacMnuTopInitAction.do?>

[WebLinkFlag=1&moveToGamenId=sinannai](https://www.library.pref.osaka.jp/licsxp-opac/WOpacMnuTopInitAction.do?WebLinkFlag=1&moveToGamenId=sinannai)

複写対象の資料については書誌情報が必須。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/e-service/cpy-usage.html>

※兵庫県立図書館・福岡県立図書館では、現在のところ郵送貸出などはありません。

※カレントアウェアネス・ポータル（国会図書館サイト）での都道府県における、緊急事態宣言発出後の図書館開館などの情報（2020/4/10現在）。

<https://current.ndl.go.jp/node/40743>

※そのほかの各道府県、また市町村レベルで、図書館の開館・利用形態の状況は異なりますので、まずは地元の公立図書館のホームページで最新の情報を必ず確認をしてください。